

プログラム 大会1日目 3月15日(土)

第1会場 (1階・G1 + G2)

シンポジウム 1

9:00 ~ 10:30

「薬局における疾患別対応マニュアル(がん)」を用いた患者支援の更なる充実に向けて

オーガナイザー：玉木 慎也 (KKR 札幌医療センター 薬剤科)
米村 雅人 (国立がん研究センター東病院)
座長：玉木 慎也 (KKR 札幌医療センター 薬剤科)
魚住 真哉 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

- S1-1 本事業の概要と今後の展望
橋場 元 (公益社団法人日本薬剤師会)
- S1-2 本マニュアル活用のポイント(総論・がん患者対応について)
西村 佳子 (総合メディカル(株) 学術情報部)
- S1-3 本マニュアル活用のポイント(大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・肝がん)
櫻下 弘志 (広島大学病院)
- S1-4 本マニュアル活用のポイント(地域医療連携・その他)
楨枝 大貴 (岡山大学病院 薬剤部)

特別講演 1

11:00 ~ 11:45

座長：大谷 壽一 (慶應義塾大学医学部 教授/慶應義塾大学病院 薬剤部長)

- SL1 患者さんと共に新しい治療を創る「Co-creation」に向けて
森 和彦 (日本製薬工業協会 専務理事)

ランチョンセミナー 1

12:00 ~ 13:00

座長：木島 貴志 (兵庫医科大学 呼吸器内科)

- LS1 広がるPBPM、期待される薬剤師の役割とは
木本 真司 (竹田総合病院 薬剤科)

共催：小野薬品工業株式会社

シンポジウム 7

13:15 ~ 14:45

薬剤師が紡ぐ地域がん医療～誰一人取り残さない薬剤師の患者支援を目指して～

オーガナイザー：野村 久祥 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)
縄田 修一 (昭和大学薬学部 / 昭和大学横浜市北部病院)
座長：野村 久祥 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)
辻 大樹 (静岡県立大学 薬学部)

- S7-1 薬剤師が紡ぐ地域がん医療～誰一人取り残さない薬剤師の患者支援を目指して～
本シンポジウムの趣旨説明
野村 久祥 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)

- S7-2 保険薬局の取り組み～患者さんに寄り添い、繋げる地域のハブとしての役割～
中島 美紀 ((有)キムラ薬局 本店)
- S7-3 薬剤師として、がん医療と社会の架け橋となるために、いま私にできること
沖崎 歩 (CancerX / がんママカフェ×薬剤師交流会)
- S7-4 薬剤師による『がん教育』始めました！ 青少年の意識変化・行動変容によるがん克服社会を目指して～ SSOP がん教育 WG の挑戦～
伊藤 剛貴 (草加市立病院)
- S7-5 より視座を高く、より視野を広げた訪問薬局・訪問薬剤師の取り組み
石塚 友一 (訪問パートナーときわ薬局)

特別講演 2

16:15～17:00

- 座長：近藤 直樹 (独立行政法人国立病院機構東京病院 薬剤部長)
- SL2 α世代への期待
高木 啓吾 (西横浜国際総合病院 シニアアドバイザー)

第2会場 (1階・G3)

シンポジウム 2

9:00～10:30

『地域』で取り組む、薬剤師によるがん医療向上への取り組み～連携・教育・啓発～

- オーガナイザー：谷口 亮央 (株式会社ナカジマ薬局)
徳留 章 (札幌東徳洲会病院 薬剤部、臨床試験センター医学研究所)
- 座長：谷口 亮央 (株式会社ナカジマ薬局)
徳留 章 (札幌東徳洲会病院 薬剤部、臨床試験センター医学研究所)

- S2-1 地域全体で取り組む薬業連携の構築と深化～札幌市東区地域の取り組み～
徳留 章 (札幌東徳洲会病院 薬剤部、臨床試験センター医学研究所)
- S2-2 地域独自の ICT ネットワークとお薬手帳の融合による新たな医療連携モデル
木本 真司 (竹田総合病院 薬剤科)
- S2-3 薬局によるがん検診啓発への取り組み
佐島 進 (マイライフ株式会社 (オール薬局) 薬局事業本部)
- S2-4 地方の専門医療機関連携薬局 (がん) が取り組むがん教育と啓発活動について
中島 美紀 ((有)キムラ薬局 本店)

ランチョンセミナー 2

12:00～13:00

- 座長：櫻井 学 (神奈川県立がんセンター)
- LS2 やりたいこと×できること で育てる薬剤師スキル～薬業連携も添えて～
小井土 啓一 (国立病院機構 横浜医療センター)
- 共催：日本調剤株式会社

シンポジウム 8

13:15 ~ 14:15

診療報酬の作り方 あなたの業務が診療報酬として評価されるまで

オーガナイザー：樋口 昇大 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

座長：樋口 昇大 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

内田 裕之 (厚生労働省 保険局 医療課)

S8-1 中央社会保険医療協議会 (中医協) での評価について～中医協の歩き方～

樋口 昇大 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

S8-2 2024 年度診療報酬改定で活用された JASPO アンケートについて

高橋 郷 (国立国際医療研究センター国府台病院 薬剤部)

S8-3 診療報酬評価前から実施していた業務～岐阜大学医学部附属病院における外来がん薬物療法に関連した取り組み～

小林 亮 (岐阜薬科大学 先端医療薬学研究室)

S8-4 ～クオール薬局聖マリアンナ医大前店における調剤報酬の評価新設前後での取り組みについて～

福島 弘之 (クオール株式会社 クオール薬局聖マリアンナ医大前店)

シンポジウム 12

15:30 ~ 17:00

意思決定能力の低い患者さんに対する ACP ～薬剤師にできる支援とは～

オーガナイザー：山本 紗織 (社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤部)

座長：山本 紗織 (社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤部)

千島 隆司 (昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター乳腺外科)

S12-1 意思決定能力が低下した患者に対する Advanced Care Planning (ACP) で必要なこと ～がん診療医の立場から～

千島 隆司 (昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター乳腺外科)

S12-2 意思決定能力の低下した患者に対する ACP：病院薬剤師にできることは何か？

奥苑 朱加 (トヨタ記念病院 薬剤科)

S12-3 薬局薬剤師における ACP への関わり

後藤 彬宏 ((株)薬正堂 すこやか薬局 登川店)

S12-4 意思決定能力が低い患者さんに対する ACP -心理士の立場より-

塚野 佳世子 (横浜労災病院心療内科)

第3会場（1階・G4）

シンポジウム 3

9:00 ~ 10:30

症例報告論文に挑戦しよう～薬剤師一人ひとりにできる臨床での取り組み～

オーガナイザー：小澤 有輝（神奈川県警友会けいゆう病院）
 藤宮 龍祥（東京薬科大学 薬学部 臨床評価学教室）
 座長：小澤 有輝（神奈川県警友会けいゆう病院）
 藤宮 龍祥（東京薬科大学 薬学部 臨床評価学教室）

- S3-1 ガイドラインを活用し症例報告の質を向上させよう！～ CARE を知る前と知った後～
 小澤 有輝（神奈川県警友会けいゆう病院）
- S3-2 症例報告の書き方を学ぼう～ Complete Case Report Writing Course の紹介～
 藤宮 龍祥（東京薬科大学 薬学部 臨床評価学教室）
- S3-3 AI を活用した症例報告の書き方～ケースシリーズを例に～
 市村 文典（昭和大学薬学部 病院薬剤学講座／昭和大学藤が丘病院 薬剤部）
- S3-4 薬局薬剤師による精神疾患患者への介入と症例報告～がん患者への介入はどのようにするか～
 前原 雅樹（有限会社杉山薬局 小郡店）

市民公開講座

13:30 ~ 15:30

がんをのりこえて、一人ひとりの未来へ
 ～市民のために胸に眠るヒーローを掘り起こせ！～

司会進行：膳場 貴子（キャスター、TBS「サンデーモーニング」司会）
 体験者ゲスト：長谷川 一男（肺がん患者会代表、肺がん体験者）
 スペシャルゲスト：麻倉 未稀（歌手、乳がん体験者）

基調講演 第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025 大会長 基調講演
 近藤 直樹（独立行政法人国立病院機構東京病院薬剤部長）

薬剤師 Session 病院薬剤師の視点より
 縄田 修一（昭和大学横浜市北部病院）
 薬局薬剤師の視点より
 大野 朋子（上永谷薬局）
 大学教員の視点より
 田口 真穂（横浜薬科大学）

患者講演 がん体験者が伝えたいがん薬物療法
 長谷川 一男（特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ理事長）

鼎談 QA Session テーマ：がんをのりこえて、一人ひとりの未来へ

司会進行 膳場 貴子

パネリスト 縄田 修一、大野 朋子、田口 真穂、長谷川 一男、
麻倉 未稀

特別企画 麻倉 未稀さんによるパフォーマンスセッション

第4会場 (3階・G303+G304)

プログラム
3月15日

シンポジウム 4

9:00 ~ 10:30

薬剤師が主体となって取り組むレジメン管理とレジメンチェックにおける確認項目の統一化
に向けた取り組み

オーガナイザー：全田 貞幹 (国立がん研究センター東病院 放射線治療科)

石井 千博 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

座長：植木 大介 (独立行政法人国立病院機構 東京病院)

石井 千博 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

S4-1 レジメン登録の課題と薬剤師の役割

全田 貞幹 (国立がん研究センター東病院 放射線治療科)

S4-2 がん診療連携拠点病院等におけるレジメン管理に関する実態調査

石井 千博 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

S4-3 がん専門病院およびがん専門病院以外の施設を対象としたがん薬物療法に係るレ
ジメン確認項目の実態調査

太田 貴洋 (厚生労働省 医薬局医薬安全対策課)

S4-4 レジメンチェック項目共通化に向けた臨床研究

植木 大介 (独立行政法人国立病院機構 東京病院)

スポンサーセミナー 1

10:45 ~ 11:45

がんサバイバーのオピオイド鎮痛薬適正使用について

座長：山口 正和 (がん研究会有明病院)

SS1-1 がんサバイバーの慢性疼痛の治療～オピオイド鎮痛薬の適正使用を中心に～

上野 博司 (京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部)

SS1-2 がんサバイバーの痛みを地域で支える未来に向けたファーマシューティカルケア
～オピオイド鎮痛薬の製剤特性をいかしたセーフティネット～

佐伯 朋哉 (横浜南共済病院 薬剤科/日本緩和医療学会)

共催：塩野義製薬株式会社

ランチョンセミナー 3

12:00 ~ 13:00

座長：米村 雅人（国立がん研究センター東病院 薬剤部）

LS3 血液がん治療のパラダイムシフト — 副作用マネジメントにおけるチーム医療の重要性 —
山内 寛彦（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

共催：中外製薬株式会社

シンポジウム 9

13:15 ~ 14:45

がん患者の未来のために、がん・生殖医療で薬剤師一人ひとりができること

オーガナイザー：日置 三紀（滋賀医科大学医学部附属病院）

小室 雅人（国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター）

座長：小室 雅人（国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター）

清水 千佳子（国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科）

S9-1 改訂版『小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン』
歌野 智之（国立成育医療研究センター 薬剤部）

S9-2 「子どもをもちたい」想いとリスクの間で：医薬品の投与に関連する避妊のガイダンスとリスクコミュニケーション
日置 三紀（滋賀医科大学医学部附属病院）

S9-3 ガイドラインを現場で活かすための薬剤師の視点
湊川 紘子（聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部）

S9-4 保険薬局からの事例紹介 - 薬局薬剤師としてできることとは
久保田 愛菜（さくら薬局 久留米大学病院前店）

シンポジウム 13

15:00 ~ 16:30

小児がん患者の未来を支えるために

～がん治療と緩和ケアを統合しトータルケアを目指そう～

オーガナイザー：阿部 健太郎（国立がん研究センター東病院薬剤部）

鳥越 一宏（湘南医療大学 薬学部 実務実習センター）

座長：阿部 健太郎（国立がん研究センター東病院薬剤部）

鳥越 一宏（湘南医療大学 薬学部 実務実習センター）

S13-1 小児がんおよび AYA 世代のがん診療
荒川 歩（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
小児腫瘍科 / 希少がんセンター）

S13-2 小児専門病院における薬剤師の関わり
歌野 智之（国立成育医療研究センター 薬剤部）

S13-3 小児がん患者に対する保険薬局薬剤師の関わり
野々村 磨つ（日本調剤 築地薬局）

S13-4 AYA 世代がん患者に対する在宅療養支援診療所薬剤師の関わり
餅原 弘樹（医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック）

第5会場 (3階・G301+G302)

シンポジウム 5

9:00～10:30

すべての薬剤師に興味をもってほしい「がんゲノム医療」のキホン

～今すぐ、薬剤師がやらなければいけない課題を考える～

オーガナイザー：米村 雅人 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

衛藤 智章 (国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部)

座長：菊地 正史 (秋田大学医学部附属病院)

橋口 宏司 (横浜南共済病院)

S5-1 がんゲノム医療に関わる薬剤師の課題解決に向けた取り組み

櫻井 洋臣 (慶應義塾大学病院薬剤部)

S5-2 がんゲノム医療で用いられる基本的知識

衛藤 智章 (国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部)

S5-3 がんゲノム医療における保険薬局の役割

角 佳亮 (クラフト株式会社)

S5-4 がんゲノム医療・プレジジョンメディスンの展望と薬剤師に求められる役割

土原 一哉 (国立がん研究センター 先端医療開発センター)

スポンサーセミナー 3

10:45～11:45

がんゲノム医療と薬剤師のかかわり～実臨床の経験を踏まえて～

座長：藤田 行代志 (群馬県立がんセンター 薬剤部)

SS3-1 がんゲノム医療と薬剤師～「これまで」と「これから」～

藤原 大一郎 (日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部)

SS3-2 がんゲノム医療に携わる喜びと苦悩：希少癌を診る一小児科医の立場から

山崎 夏維 (大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター 小児血液・腫瘍内科)

共催：バイエル薬品株式会社

ランチョンセミナー 4

12:00～13:00

経口抗がん薬治療における患者支援～副作用対策と曝露対策指導を含めて～

座長：中山 季昭 (埼玉県立がんセンター 薬剤部)

LS4-1 がん薬物療法における曝露対策指導～経口抗がん薬を中心に～

谷川 大夢 (がん研究会有明病院 薬剤部)

LS4-2 経口抗がん薬の Total マネジメント

葉山 達也 (日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部)

共催：日本化薬株式会社

シンポジウム 10

13:15 ~ 14:45

抗がん薬治療中の肺障害への挑戦：薬剤師の役割を考える

オーガナイザー：大橋 養賢（国立国際医療研究センター病院 医薬品情報管理室）
 郷 真貴子（大垣市民病院）
 座長：大橋 養賢（国立国際医療研究センター病院 医薬品情報管理室）
 郷 真貴子（大垣市民病院）

S10-1 薬剤性肺障害を引き起こした抗がん薬とその教訓：過去の事例から学ぶ

郷 真貴子（大垣市民病院）

S10-2 薬剤性肺障害（ILD）の早期発見と対応：治療医・呼吸器内科医・薬剤師の連携
—抗がん薬治療リスク管理の新たなアプローチ—

加藤 晃史（神奈川県立がんセンター 呼吸器内科）

S10-3 薬剤性肺障害に対する当院の取り組み

立田 真也（日本赤十字社医療センター 薬剤部）

S10-4 症例を通して薬剤性間質性肺炎の早期発見から治療につなげるために薬剤師がデキることを考えてみよう

原田 知彦（神奈川県立足柄上病院 薬剤科）

シンポジウム 14

15:00 ~ 16:30

がん薬剤師外来の道標～未来に向けた薬剤師外来への挑戦～

オーガナイザー：小澤 有輝（神奈川県警友会けいゆう病院）
 谷川 大夢（がん研究会有明病院 薬剤部）
 座長：川上 和宜（がん研究会有明病院）
 小澤 有輝（神奈川県警友会けいゆう病院）

S14-1 がん薬剤師外来の立ち上げの苦労と工夫～市中病院編～

杉山 弘樹（静岡市立清水病院 薬剤部）

S14-2 薬剤師外来の再構築による効果と課題

葉山 達也（日本大学医学部附属板橋病院）

S14-3 持続可能な薬剤師外来のさらなる可能性を考える

高田 慎也（国立病院機構 北海道がんセンター）

S14-4 がん薬剤師外来の道標～医師の視点から～

勝俣 範之（日本医科大学武蔵小杉病院）

第6会場（3階・G312+G313）

シンポジウム 6

9:00 ~ 10:30

みんなどうしてる？多職種で考えるがん患者の血糖モニタリング

オーガナイザー：吉越 彩夏（日本調剤山手薬局）
 座長：吉越 彩夏（日本調剤山手薬局）
 日浦 寿美子（東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部）

- S6-1 外来化学療法施行時におけるがん患者に対する血糖管理
大澤 勇貴 (東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部)
- S6-2 糖尿病合併がん患者の血糖管理とシックデイ指導についてー糖尿病専門薬剤師の立場からー
井上 岳 (北里大学北里研究所病院薬剤部)
- S6-3 薬局薬剤師が外来がん治療、認定資格を取得して～がん患者の血糖管理においてできること、課題～
吉越 彩夏 (日本調剤山手薬局)
- S6-4 糖尿病合併がん患者との関わりー管理栄養士の立場からー
秋山 紘槻 (神奈川県立がんセンター 栄養管理科)

ランチョンセミナー 5

12:00 ~ 13:00

座長：眞壁 秀樹 (埼玉医科大学 薬剤部)

LS5 多発性骨髄腫の薬物治療

牧野 好倫 (埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/
薬剤師/臨床研究適正推進センター)

共催：第一三共エスファ株式会社

シンポジウム 11

13:15 ~ 14:45

保険薬局における医療 DX 活用

～取得した情報のインプット・アウトプットについて考えよう～

オーガナイザー：前原 央奈 (さくら薬局 自治医大前店)

中澤 寛仁 (自治医科大学附属病院 薬剤部)

座長：前原 央奈 (さくら薬局 自治医大前店)

中澤 寛仁 (自治医科大学附属病院 薬剤部)

- S11-1 患者情報を利用した保険薬局との連携、デジタル技術を活用して「何をどのように届けるのか？」
高山 俊輔 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)
- S11-2 保険薬局は DX の「2025 年の崖」を飛び越えることができるのか？
本田 雅志 (総合メディカル株式会社 学術情報部)
- S11-3 ICT による調剤後フォローアップ事例の分析と活用
山崎 友樹 (株式会社カケハシ)
- S11-4 経済産業省の PHR に関する取組
山中 涼佑 (経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課)

BPACC 会議

15:00 ~ 16:30

第 3 回専門医療機関連携薬局の推進に向けた薬局 BPACC 会議

オーガナイザー：松井 礼子（国立国際医療研究センター病院）

座長：玉木 慎也（KKR札幌医療センター 薬剤科）

座長：下川 友香理（総合メディカル株式会社 薬局事業本部）

BP-1 専門医療機関連携薬局が担う患者、病院、地域の薬局へのアプローチとその認知度向上のための施策

三星 勇輝（クオール株式会社）

BP-2 専門医療機関連携薬局（がん）の薬学のおよび医療経済の有益性に関する検討

植竹 友輔（株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 さいたま新都心店）

コメンテーター：高山 俊輔（埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部）

山根 孝太（株式会社ファーマシイ）

大塚 昌孝（有限会社つくし薬局）

第 7 会場（4 階・G403+G404）

優秀演題候補（口演） 1

9:00 ~ 10:30

座長：縄田 修一（昭和大学薬学部 / 昭和大学横浜市北部病院）

山口 拓洋（東北大学大学院医学系研究科医学統計学）

OA1-01 イリノテカン誘発性コリン症状に対する抗コリン薬単回予防投与の症状コントロール不良因子の探索

渡辺 拓也（北海道大学病院 薬剤部）

OA1-02 婦人科癌領域におけるカルボプラチンによる血液毒性に BMI の違いが与える影響に関する後方視的検討

尾花 輝樹（近畿大学病院 薬剤部）

OA1-03 非小細胞肺癌患者におけるドセタキセル誘発性浮腫の要因分析

山下 慎介（北海道大学大学院 生命科学院）

OA1-04 子宮頸がん患者に対するシスプラチンレジメンの補液法変更による安全性の評価

丸田 愛美（神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター）

OA1-05 免疫チェックポイント阻害薬（ICI）による遅発性の免疫関連有害事象（irAE）の発現状況と治療効果に与える影響

岩田 理沙（名古屋大学医学部附属病院 薬剤部）

OA1-06 リンパ球減少を認めた周術期乳がん患者におけるニューモシスチス肺炎（PCP）予防に関する観察研究

中村 朱里（国立がん研究センター東病院 薬剤部）

OA1-07 高齢転移性肺癌患者のがん化学療法における薬剤師による G8 スクリーニングに基づいた包括的高齢者機能評価の有用性の検討

苅田 証人（名古屋市立大学病院 薬剤部）

OA1-08 当院におけるゾルベツキシマブの悪心・嘔吐に対する経験報告

近藤 優樹 (一宮西病院 中央診療部 薬剤科)

OA1-09 がんサバイバーシップ教育教材の開発に向けた多職種医療者の学習ニーズ調査

牧野 あずみ(アトム薬局)

スポンサードセミナー 2

10:45 ~ 11:45

座長：宮崎 雅之 (名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)

SS2 医療者が知っておくべき抗がん薬曝露の発生源と患者説明のすゝめ

－ 愛知県がんセンター 2011 年からのデータを基に －

前田 章光 (愛知県がんセンター 薬剤部)

共催：東和薬品株式会社

ランチョンセミナー 6

12:00 ~ 13:00

腎細胞癌薬物治療における薬剤師の関わり方

座長：橋本 浩伸 (国立がん研究センター中央病院 薬剤部)

LS6-1 転移性腎細胞癌の現状と課題

～レンパチニブ+ベムプロリズマブ療法を中心に～

植田 浩介 (久留米大学病院 泌尿器科学講座)

LS6-2 TKI 副作用マネジメントのための医療連携

八坂 瑞臣 (株式会社ミズ 溝上薬局 久留米医大前店)

共催：イーザイ株式会社 / MSD 株式会社

優秀演題候補 (口演) 2

14:20 ~ 15:20

座長：河添 仁 (慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 /
慶應義塾大学病院 薬剤部)

菊地 正史 (秋田大学医学部附属病院 薬剤部 /

秋田大学大学院医学系研究科 薬剤学講座)

OA2-01 胆道癌ゲムシタピン+シスプラチン療法に対するアプレピタント併用の制吐効果を検証した多施設共同後ろ向き研究

藤林 遼 (北海道消化器科病院 薬剤部)

OA2-02 高齢がん患者を対象とした化学療法毒性予測ツールの予測精度向上を目指した層別解析

内山 将伸 (福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室)

OA2-03 アベマシクリブ投与中の血清クレアチニンの変動は併用薬剤の投与量調整に影響を与える可能性がある

梅原 健吾 (国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部)

OA2-04 婦人科がんにおける TC 療法での FN 発症のリスク因子解析に基づく G-CSF 製剤の適正使用についての検討

齋藤 冬都希(由利組合総合病院 薬剤科)

OA2-05 切除不能膵癌におけるナノリボソーム型イリノテカン /FU/LV による好中球減少を発症する因子の探索

竹田 健志 (大阪国際がんセンター 薬局)

優秀演題候補 (口演) 3

15:30 ~ 16:30

座長: 河添 仁 (慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 / 慶應義塾大学病院 薬剤部)

菊地 正史 (秋田大学医学部附属病院 薬剤部 / 秋田大学大学院医学系研究科 薬剤学講座)

OA3-01 高齢進行再発膵がん患者における nab-PTX+GEM 療法の至適投与量と好中球減少症のリスク因子についての多施設共同研究

佐藤 優弥 (秋田赤十字病院 薬剤部)

OA3-02 固形腫瘍における腫瘍崩壊症候群の発症実態およびリスク因子の探索

近藤 勝弘 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 薬剤部)

OA3-03 がん医療均てん化に向けたがん薬物療法副作用評価シート (トレーシングレポート) 統一化への取り組み

曾根 敦子 (東海大学医学部付属病院 薬剤部 薬剤科)

OA3-04 連携充実加算施設基準要件の研修会を充実させるためのアンケート調査

河野 慎吾 (がん研究会 有明病院 薬剤部)

OA3-05 外来がん化学療法における薬剤師業務が相対用量強度に及ぼす影響

岡崎 秀太 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

第 8 会場 (4 階・G401+G402)

一般演題 (口演) 2

9:00 ~ 10:30

がん薬物療法 (症例報告を除く) ①

座長: 高橋 俊明 (株式会社トモエ トモエ薬局高田店)

花香 淳一 (医療法人社団善仁会小山記念病院 薬剤部)

O2-01 当院におけるブチルスコポラミン臭化物混注法によるイリノテカン誘発性コリン様症状の副作用対策について

矢羽々 俊 (岩手県立久慈病院 薬剤科)

O2-02 外来化学療法室での "患者全例・毎回介入" を実現した取り組み

萩谷 瑞紀 (善仁会 小山記念病院 薬剤部)

O2-03 アテゾリズマブによる irAE の発症予測因子の探索

井上 陽 (国際医療福祉大学 薬学部 薬学科)

O2-04 エンホルツマブベドチン投与時の有害事象軽減を目的としたデキサメタゾン予防投与の評価

石井 紗英子 (慶應義塾大学病院 薬剤部)

02-05 がん薬物療法体制充実加算取得に向けた薬剤師外来の開設とその有用性に関する検討

吉川 直美 (相模原病院 薬剤部)

02-06 CART 施行前後の膵臓癌患者の腹水におけるマクロファージの分極状態と免疫関連因子の変化

小堀 宅郎 (大阪大谷大学 薬学部 薬物治療学講座)

02-07 Bev+TAS-102 における投与方法の違いが大腸癌患者の生存期間および有害事象の発現に与える影響を評価する後方視的研究

安藤 洋介 (藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学)

02-08 入院患者に対する B 型肝炎対策支援 PBPM

原口 智彦 (日本赤十字社 長崎原爆病院 薬剤部)

02-09 オビヌツズマブ初回投与後の IRRs 発現と副腎皮質ホルモン薬前投与量の関連性：多機関共同過去起点コホート研究

大坪 達弥 (京都第二赤十字病院 薬剤部)

ランチョンセミナー 7

12:00 ~ 13:00

座長：櫻井 洋臣 (慶應義塾大学病院 薬剤部)

LS7-1 r/r DLBCL における二重特異性抗体治療
～導入初期から外来移行までの患者マネジメント～

黒井 大雅 (中国中央病院 血液内科)

LS7-2 Epcoritamab の適正使用において薬剤師ができること

石井 一也 (中国中央病院 薬剤部)

共催：ジェンマブ株式会社 メディカルアフェアーズ本部/
アッヴィ合同会社 医学統括本部

一般演題 (口演) 3

14:20 ~ 15:20

がん薬物療法 (症例報告を除く) ②

座長：石井 千博 (国立がん研究センター東病院 薬剤部)

植木 大介 (国立病院機構 東京病院 薬剤部)

03-01 AC/EC 療法施行患者に対するオランザピン+パロノセトロン+アプレピタント併用療法におけるデキサメタゾン短縮の有効性

山本 泰大 (小牧市民病院 薬局)

03-02 トリフルリジン・チピラシル塩酸塩 + ペバシズマブ併用療法の悪心発現傾向とその対応策について

山下 慎司 (大津赤十字病院 薬剤部)

03-03 抗 EGFR 抗体薬治療患者におけるミノサイクリン投与が及ぼす影響

渡邊 太郎 (山口県立総合医療センター 薬剤部)

03-04 オピオイド誘発性便秘・悪心嘔吐の予防に対するナルデメジンの使用状況調査

田中 亮 (市立池田病院 薬剤部)

03-05 当院の外来がん化学療法における薬剤師外来の開設状況とその評価

小山 加奈世 (市立大津市民病院 薬剤部)

03-06 消化器がん化学療法に伴う貧血に対するデルイソマルトース第二鉄の有効性：単施設前向き観察研究 (第1報)

相楽 勇人 (中通総合病院 薬剤部)

一般演題 (口演) 4

15:30 ~ 16:30

がん薬物療法 (症例報告を除く) ③ / 地域・在宅医療①

座長：植木 大介 (独立行政法人国立病院機構 東京病院)

高橋 俊明 (トモエ薬局 高田店)

04-01 切除不能膀胱癌患者における mFOLFIRINOX 療法と GEM+nab-PTX 療法の治療順による有効性の比較

住井 遥 (国立病院機構 福山医療センター 薬剤部)

04-02 がん化学療法副作用管理アプリの有用性と問題点

塚川 麻利子 (横浜市立市民病院 薬剤部)

04-03 ペルツズマブ・トラスツズマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ配合皮下注のシリジポンプを用いた投与の妥当性の検討

伊藤 剛貴 (草加市立病院 薬剤部)

04-04 市立芦屋病院での免疫チェックポイント阻害薬中止後の検査状況と予後について

橋本 百世 (市立芦屋病院 薬剤科)

04-05 「薬局薬剤師を対象としたがん関係の講習会受講前後の意識調査ならびに教育効果の測定と検証」の取り組み

和田 憲周 (一般社団法人 泉州メディカ 協和薬局)

04-06 甲状腺癌に対するダブルフェニブ・トラメチニブ併用療法における発熱が用量強度に与える影響

塩谷 純子 (伊藤病院 診療技術部 薬剤室)

第9会場 (4階・G414+G415)

ランチョンセミナー 8

12:00 ~ 13:00

座長：川崎 敏克 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 薬剤部)

LS8 子宮体がん診療における新展開～DUO-E試験への期待と副作用マネジメントを含めて～

梶山 広明 (名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学)

共催：アストラゼネカ株式会社

抗がん薬への職業性曝露予防を目指す CSTD 適正使用のための実技研修会（事前予約制）

14:00～16:00

主催：日本がんチーム医療研究会
特定非営利活動法人 堺臨床研究支援センター

第10会場（4階・G416+G417）

ランチョンセミナー9

12:00～13:00

座長：北野 敦子（聖路加国際病院）

LS9 アベマシクリブを継続するためのコツ
～患者さんコミュニケーションと副作用マネジメント～

高木 麻里（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター薬局）

原田 成美（東北大学大学院医学系研究科乳腺内分泌外科学分野）

共催：日本イーライリリー株式会社

展示・ポスター会場（1階・G5 + G6）

優秀演題候補（ポスター）

3/15（土）17:00～17:30

- P-001 進行再発胃癌の Nivolumab + SOX 療法施行患者における炎症・栄養指標の予後マーカーとしての有用性の検討
大木 雅貴（旭中央病院薬剤局）
- P-003 パルボシクリブによる有害事象発現のリスク因子解析及び生存期間に及ぼす影響の検討：多機関共同後方視的観察研究
奈良 修平（大阪市立総合医療センター 薬剤部）
- P-005 腎細胞がんにおけるカボザンチニブの尿蛋白発現に関わるリスク因子解析
廣原 成（東海大学医学部付属病院 薬剤部 薬剤科）
- P-007 テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤導入時の適正使用状況に関する調査
花形 香歩（山梨大学医学部附属病院 薬剤部）
- P-009 PARP 阻害薬による貧血の重症化に関わる因子の評価と人参養栄湯の有用性の検討
田初 夏苗（国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部）
- P-011 化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響
筒井 佑紀（独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター）
- P-013 ベネトクラクス血中濃度と有効性の関係と血中濃度に影響を与える薬物間相互作用の検討
甲斐 絢香（明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 臨床薬学研究室）
- P-015 パクリタキセル誘発急性痛に対する鎮痛薬候補薬の効果
佐藤 葵（明治薬科大学 薬理学研究室）
- P-017 がん薬物療法における薬剤師による医師診察前面談の現状調査
櫻井 登代子（洛和会首羽病院 薬剤部）
- P-019 消化器癌患者におけるオキサリプラチン過敏反応に対する再投与に関する検討
渥美 仁（中東進総合医療センター 薬剤部）
- P-021 二重特異性抗体薬投与における CRS/ICANS 院内初期対応フローの作成
田中 亜弥（国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部）
- P-023 非小細胞肺がんのパクリタキセルを含む3剤併用療法での栄養指標と副作用および治療成功期間（TTF）との関連性
初山 多恵（札幌南三条病院 薬剤部）
- P-025F 「アナモレリン適用症例における投与開始時 CRP/ALB 比（CAR）測定の臨床的意義」
牛腸 明広（新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部）
- P-027F naI-IRI+5-FU/I-LV 療法開始時における NLR 及び CAR と治療継続についての検討
新地 瑠海（宮崎大学医学部附属病院 薬剤部）

P-029F シスプラチン誘発性腎障害に対するフロセミドの投与タイミングと腎障害予防効果の比較

脇岡 葵 (福岡大学 薬学部 薬学科)

P-173F 薬局薬剤師によるフォローアップがサイトカイン放出症候群の早期対応に寄与した一症例

糸井 陽介 (アインファーマシーズ アイン薬局 桑園駅前店)

P-215 医薬品副作用データベース (JADER) を用いた免疫チェックポイント阻害薬による下痢の発現リスク解析

五十嵐 爽 (アイン薬局 獨協医大店)

P-217 婦人科レジメンにおける投与基準一覧表の見直し

吉田 美和 (東京都立病院機構 東京都立東部地域病院)

P-219 経口抗がん薬治療患者に対する ePRO を活用したフォローアップにおける薬剤師介入 (FORECAST 研究)

滝澤 健司 (望星薬局)

P-221 リアルワールドデータ活用による乳がん製剤使用と就業状況・生産性損失の関連に関する検討

滝沢 治 (東京大学大学院薬学系研究科 医療政策・公衆衛生学)

P-223F 経口抗悪性腫瘍薬を対象とした食事による AUC 増加の予測モデルの構築と支持療法薬等への適応

宮島 利奈 (帝京大学 薬学部 臨床薬剤学)

一般演題 (ポスター)

3/15 (土) 17:00 ~ 17:30

がん薬物療法 (症例報告を除く)

P-031 オキサリプラチンとカペシタピンを用いたがん化学療法患者における副作用発現に関する現状調査

岸本 真 (霧島市立医師会医療センター 薬剤部)

P-033 当院におけるエプロリタマブ投与による CRS 発現状況について

阿部 結哉 (北海道がんセンター 薬剤部)

P-035 当院における再発又は難治性の多発性骨髄腫に対するエルラナタマブ療法の使用状況と有害事象の実態調査

栗原 りか (渋川医療センター)

P-037 免疫チェックポイント阻害薬スクリーニング検査セットの使用状況調査

今川 貴仁 (東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部)

P-039 当院におけるゾルベツキシマブ使用状況及び副作用発現状況の調査について

鈴木 雅人 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部)

P-041 呼吸器専門医不在の施設におけるトラスツマブデルクステカン導入のプロセス

虻川 詩希子 (大館市立総合病院 薬剤科)

P-043F KEYNOTE189 レジメンの有害事象による治療中断で無増悪生存期間が延長する患者の特性

川本 日和李 (就実大学 薬学部)

P-045 カペシタビン+オキサリプラチン療法に分子標的薬の上乗せを行った際の味覚障害および口腔粘膜炎に対する影響

山田 将悟 (北海道消化器科病院 薬剤部)

P-047F リツキシマブ 90 分点滴法における忍容性の検討：単一施設による後ろ向き観察研究

谷畑 美里 (淀川キリスト教病院 薬剤部)

P-049 ニボルマブ+化学療法併用患者におけるプロトンポンプ阻害剤併用が腎機能に与える影響

三柳 心路 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター 薬剤部)

P-051 外来化学療法センターでの薬剤師の取り組み経過と薬学的介入分析

村上 幸恵 (新潟県厚生連上越総合病院 薬剤部)

P-053F 当院におけるフェスゴ[®]の使用経験

杉山 みなみ (牧田総合病院 薬剤部)

P-055 中規模病院におけるがん薬物療法体制充実加算取得のための体制構築とその効果

鯉淵 寛之 (横浜総合病院 薬剤部)

P-057F irAE 発症時における臨床検査値の変化についての探索

倉井 岳史 (那須赤十字病院 薬剤部)

P-059 がん薬物療法に伴う血管外漏出時の対応に関する調査

宮澤 憲治 (金沢医療センター 薬剤部)

P-061F 経口抗がん薬の重篤な有害反応による急性期治療の予測因子の探索：単一施設研究 (2020-2021 年)

寺本 美咲 (東京理科大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻)

P-063 外来がん化学療法における診察前面談の評価

石川 夏波 (JA かみつが厚生連 上都賀総合病院 薬剤部)

P-065 分子標的薬を用いた外来がん化学療法において薬局薬剤師が果たすべき役割

一戸 秀太 (株式会社宮古アイン 宮古調剤薬局)

P-067 ゾルベツキシマブを含むレジメンの運用について

村上 達哉 (姫路医療センター 薬剤部)

P-069F トラスツズマブによる Infusion-Related Reaction のリスク因子の検証

松井 優奈 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 薬剤部)

P-071 当院におけるペルツズマブ・トラスツズマブ配合皮下注製剤の使用状況について

木下 智広 (唐津赤十字病院 薬剤部)

P-073 注射がん化学療法における投与 2 回目の全患者を対象としたチーム体制の診察前面談 (薬剤師外来) の取り組みとその評価

坂本 靖宜 (横浜市立大学附属病院 薬剤部)

- P-075 非小細胞肺癌患者を対象としたドセタキセル+ラムシルマブ療法の副作用の予測因子に関する後ろ向き探索研究
中村 俊之 (市立長浜病院 薬剤局)
- P-077 大腸がんにおける Doublet + BV 療法と FOLFOXIRI + BV 療法の好中球減少・FN 発現率の比較
野口 ひなた (横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部)
- P-079F アンスラサイクリン系抗がん薬によるがん治療関連心血管毒性の治療前リスクの現状調査
渡邊 倫 (横浜市立大学附属病院 薬剤部)
- P-081 切除不能な膵がん化学療法の中止基準因子の検討
宮部 貴識 (国立病院機構舞鶴医療センター 薬剤部)
- P-083 ピンクリスチンによるマウス血管外漏出モデルに対するステロイド外用剤塗布期間の有効性の検討
牧島 里紗 (明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 臨床薬学研究室)
- P-085 免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能障害及びその管理状況の調査
辻井 大輔 (徳島県立三好病院 薬剤科)
- P-087 トラスツズマブ使用患者における GLS の有用性と薬剤師の介入についての検討
大田 晴香 (兵庫県立淡路医療センター 薬剤部)
- P-089 登録レジメンの支持療法変更の検討
～5-HT₃ 受容体拮抗薬を第二世代へ変更した際の悪心・嘔吐に対する効果の検証～
岡崎 直樹 (いまきいれ総合病院 薬剤課)
- P-091F メトトレキサート大量療法における排泄遅延の要因に関する後方視的調査
草加 高士 (堺市立総合医療センター 薬剤科)
- P-093 大阪大学医学部附属病院におけるジールスタ[®] ボディーボッドの使用実態調査
廣重 佑香 (大阪大学医学部附属病院 薬剤部)

がん薬物療法 (症例報告)

- P-095F がん化学療法と上腸間膜動脈症候群の発症により悪心嘔吐のコントロールが難渋した 1 例
柄沢 良恵 (行田総合病院 薬剤課)
- P-097 妊娠期乳がんに対して、dose-denseAC(ddAC) → weeklyPTX(wPTX) 療法を施行した 1 例
遠藤 美央 (KKR 札幌医療センター 薬剤科)
- P-099 免疫チェックポイント阻害薬中止後にサイトカイン放出症候群が再燃した 1 例
吉田 勝好 (益田赤十字病院 薬剤部)
- P-101 びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫治療中にデクスラゾキサンの血管外漏出を起こした 1 例の症例報告
若宮 奈央 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 卒後研修センター)

- P-103F アナモレリン投与による糖尿病への対応にリナグリプチンを投与した一例
仲尾 洋子 (日本調剤 医大前調剤薬局)
- P-105 当地域におけるゾルベツキシマブのより簡便な投与方法の構築と有害事象の発現状況報告
洞口 拓也 (高山赤十字病院 薬剤部)
- P-107F 肺癌患者がデュルバルマブ+トレメリムブ (DUR + TRM) 投与後にサイトカインストーム (CRS) を生じた一例
保井 健太 (国立病院機構 京都医療センター 薬剤部)
- P-109 卵巣がん患者における血中ニラパリブ濃度モニタリング
丸藤 義翔 (明治薬科大学 大学院)
- P-111 デュルバルマブ+トレメリムブ併用療法による irAE 腸炎に対しステロイドを導入し、漸減中に新たに間質性肺疾患を生じた一例
松本 健吾 (国立病院機構 姫路医療センター 薬剤部)
- P-113 ニボルマブ療法中に irAE 胃炎を生じた一例
小嶋 恭平 (山梨厚生会 山梨厚生病院 薬剤室)
- P-115 CAPOX 療法施行中に発現した大球性貧血の 3 例
増野 貴司 (公立藤岡総合病院 薬剤部)
- P-117F セツキシマブ再開後のご瘡様皮疹に対するステロイド外用薬の治療効果
足立 璃里子 (川西市立総合医療センター 薬剤科)
- P-119 薬局薬剤師のイキサゾミブクエン酸エステル服用患者との信頼関係の構築により、重度の下痢の早期発見、早期対応に繋がった一例
高柳 ふみ枝 (アインファーマシーズ アイン薬局 磐田店)
- P-121 軽度腎機能低下を有する副腎皮質癌患者に対する EDP-M 療法の 1 例
大平 サラ (常磐病院 薬剤部)
- P-123 ゾルベツキシマブ+CAPOX 療法の有害事象に対する薬学的介入症例
島袋 優花 (仁愛会 浦添総合病院 薬剤部)
- P-125 オシメルチニブ開始後にうっ血性心不全を発症した肺がん患者の 1 症例
尾形 美絵 (大分県済生会日田病院)
- P-127 mFOLFOX6,FOLFIRI 療法でのステロイドスペアリングの実態調査
鹿間 友絵 (済生会横浜市南部病院 薬剤部)
- P-129F 当院におけるゾルベツキシマブ投与 3 症例の有害事象発現状況
岩崎 愛弓 (奈良県立医科大学附属病院 薬剤部)
- P-131F CAPOX 療法におけるホスネツピタントの有効性の検証
武島 宙 (敬愛会 中頭病院 薬剤部)
- P-133 免疫チェックポイント阻害剤とプラチナダブレット治療中に薬剤師が SIADH を早期に発見できた症例
神田 沙季 (社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科)
- P-135 肛門管類基底細胞癌にマイトマイシン C とカベシタピンの CCRT を投与した一例
中島 優子 (上都賀総合病院 薬剤部)

- P-137 同時化学放射線療法治療期間中にみられた食欲不振・吐き気に対してオランザピンを用いた1例
張光 雄大 (福岡大学 薬学部 薬学科)
- P-139 ヒドロモルフォン持続静注から経口剤への換算比率が一定でなかった1症例
栗原 啓輔 (聖隷浜松病院 薬剤部)
- P-141 胃切除後のRET 融合遺伝子陽性再発甲状腺癌患者にセルベルカチニブを投与した1症例
殿村 直也 (東京都立多摩総合医療センター 薬剤科)
- P-143 配合皮下注製剤フェスゴ®の当院における使用経験と考察
萩原 知佳 (福岡大学筑紫病院 薬剤部)
- P-145 アスピリン喘息疑いのがん患者への抗がん剤投与の一例
太田 恵 (済生会横浜市東部病院 薬剤部)
- P-147 横浜栄共済病院におけるゾルベツキシマブの使用報告
中山 裕貴 (横浜栄共済病院)
- P-149 eDIARYを活用した外来化学療法サポートの1例
金澤 亜梨沙 (千葉西総合病院 薬剤部)
- P-151F ニボルマブ投与中に低血糖, 低Na血症, 好酸球増多が軽度であったが副腎不全を発症した1例
高田 幸裕 (東京医科大学八王子医療センター 薬剤部)
- P-153 重度腎機能障害を有する固形がん骨転移患者へのゾレドロン酸の使用経験
三上 貴弘 (宮城県立がんセンター 薬剤部)
- P-155F CCR4 陽性成人T細胞性白血病/リンパ腫患者に対しモガムリズマブ投与により認知機能低下が疑われた1症例
小田 美季 (東京医療センター)
- P-157F デノスマブ使用患者におけるエプコリタマブ治療を契機とした薬剤関連顎骨壊死を発症した1例
箕輪 僚耶 (いわき市医療センター 薬局)
- P-159 2次治療としてABCP (ATZ + BEV + CBDCA + PTX) 療法を開始した肺癌患者に対する介入
澤井 一 (和同会薬局湯島店)
- P-161F がん性腹膜炎のある胆管癌患者においてirAE小腸炎を発症した1例
井上 大輝 (芳賀赤十字病院 薬剤部)
- P-163 併存疾患のある大腸がん患者に対し、薬局薬剤師が介入した症例
赤嶺 美奈 (和同会薬局 駿河台店)
- P-165F Ipi+Nivo 併用療法中のステロイド含有薬剤併用で下垂体機能低下症を引き起こし治療遅延した1例
青野 花音 (川西市立総合医療センター 薬剤科)

- P-167 BEACON レジメンによる皮膚障害・手足症候群により、エンコラフェニブの脱
PTP が困難になった一例
興石 徹 (東京医科大学八王子医療センター 薬剤部)
- P-169 卵巣癌に対し PARP 阻害薬維持療法中に治療関連白血病を発症した一例
原田 悠介 (日立製作所 日立総合病院)
- P-171 電話支援により、閉塞性黄疸の早期発見で緊急入院につながった膵がん患者の 1 症例
岩本 翔 (株式会社日本調剤佐大鍋島薬局)

病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療

- P-175 当院の連携充実加算について～中小病院としての取り組み～
山田 憲和 (福井厚生病院 薬剤課)
- P-177 がん薬物療法体制充実加算における当院の取り組みと診察前面談の有用性
臼井 崇 (静岡済生会総合病院 薬剤部)
- P-179 継続性を考慮した専門医療機関連携薬局としての研修会開催に向けた取り組み
山崎 友里絵 (ナカジマ薬局 桑園店)
- P-181 がん薬物療法におけるトレーシングレポート電子化導入の有用性の検討
柳野 紗智子 (東邦大学医療センター大森病院 薬剤部)
- P-183 当院における連携充実加算の実態調査 ～現状の把握と院外薬局の意見も踏まえた今後の展望～
青木 洸英 (熊谷総合病院 医療技術部 薬剤科)
- P-185 がん患者の栄養食事指導における薬剤師と管理栄養士との連携について
～勉強会後のアンケートからみえたこと～
目黒 聡子 (板橋中央総合病院 薬剤部)
- P-187 白十字病院におけるがん薬物療法体制充実加算の算定と取り組みについて
水之江 峻介 (白十字会 白十字病院 薬剤部)
- P-189 姫路医療センターにおけるがん薬物療法体制充実加算の取り組み
江原 美里 (国立病院機構 姫路医療センター 薬剤部)
- P-191 専門医療機関連携薬局による近隣薬局への研修会に関する質問紙調査
木ノ下 理恵 (さくら薬局 横浜浦舟店)
- P-193 診察前問診による薬学的管理と受諾率の評価
平野 美絵 (厚生連三重北医療センターいなべ総合病院 薬剤部)
- P-195F 乳がん術前化学療法の副作用早期発見に関するテレフォンプォロアップの有用性
井澤 佐知子 (日本調剤 札幌大前薬局)
- P-197 当院での外来化学療法における薬剤師のかかわりと診察前薬剤問診の実施状況
白藤 裕美 (耳原総合病院 薬剤科)
- P-199 トレーシングレポート活用による抗がん剤薬薬連携の強化
白石 貴之 (くすりの福太郎市原姉崎店)
- P-201 トレーシングレポートを介して報告されたアバマシクリブの副作用発現状況
篠崎 千尋 (JCHO 久留米総合病院 薬剤部)

- P-203 外来がん薬物療法トレーシングレポートの内容分析～病院薬剤師の役割と今後の課題について～
小久保 祐希 (八尾市立病院 薬剤部)
- P-205 多職種カンファレンス参加による連携充実加算への効果について
古川 直登 (兵庫県立尼崎総合医療センター)
- P-207 アンスラサイクリン系抗がん薬投与後におけるフォローアップ体制の構築および地域連携に向けた取り組み
坂居 知憲 (岡山大学病院 薬剤部)
- P-209 化学療法情報提供書の後方視的調査により得られた現状と課題～協働しやすい薬薬連携の構築を目的とした研修会開催の試み～
山本 千尋 (サン薬局桜井西店)
- P-211 当院におけるがん薬物療法薬剤師外来の開設と介入実態
渡邊 雅明 (地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院)

医薬品情報・データベース・薬歴管理 / 調剤・処方監査・リスクマネジメント

- P-213 有害事象自発報告データベースを用いたL-アスパラギナーゼと抗凝固薬併用による出血リスクへの影響に関する検討
奥村 俊一 (東京都立小児総合医療センター 薬剤科)
- P-225 薬局薬剤師の職業性曝露に対する意識改革のための研修実施について
足立 昇平 (総合メディカル株式会社 さくらファーマシー薬局)
- P-227F レジメンチェックシート導入前後の介入内容の変化、意識調査の検討
白鳥 瞳 (国立病院機構 東京病院 薬剤部)
- P-229 内服抗がん剤の外来処方における鑑査手順の標準化に向けた取り組み
北村 真奈美 (飯塚病院 薬剤部)
- P-231 アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤(アラグリオ[®])の適正使用に向けた取り組みと使用状況について
岸本 幸次 (八尾市立病院 薬剤部)
- P-233 閉鎖式薬物移送システム導入前後の抗がん薬曝露調査
熊澤 崇 (市立三次中央病院 薬剤科)
- P-235 閉鎖式薬物移送システム導入後の抗がん剤曝露状況と問題点(第三報)
坂口 貴大 (済生会宇都宮病院 薬剤部)
- P-237F がん薬物療法におけるレジメンチェックの標準化を目指した取り組み
田中 健太 (群馬中央病院 薬剤部)
- P-239 抗がん薬混合調製ロボットの導入と活用について
山口 淳美 (兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部)
- P-241F 抗がん剤の単回バイアル複数回使用(DVO)の最適化に向けた関連因子の分析
藤田 峻介 (大垣市民病院 薬剤部)
- P-243F 次亜塩素酸水の導入による抗がん薬の曝露低減の調査
小川 侑乃 (東京都立東部地域病院 薬剤科)

- P-245F 抗悪性腫瘍薬の医療費抑制に対する当院の取り組み
吉成 徹 (獨協医科大学日光医療センター 薬剤部)
- P-247F 外来化学療法室を活用した薬剤師による診察前面談
～『がん薬物療法体制充実加算』の取り組みと医師へのフィードバック内容～
富山 正也 (神戸市立医療センター 西市民病院 薬剤部)
- P-249 抗がん剤調製における注射薬混注鑑査システムの満足度調査について
黒部 健太郎 (佐賀県医療センター好生館 薬剤部)

地域・在宅医療 / その他

- P-251 肺癌患者の緩和ケアとして、外来から在宅医療まで連続してかかりつけ薬剤師として関わった事例
栄 由佳 (汐田薬局)
- P-253 細胞毒性試験を用いたシクロホスファミドの職業性曝露対策に向けたエビデンスの構築
上田 裕 (福岡大学筑紫病院 薬剤部)
- P-255 JASPO 監修「かかりつけ薬剤師・薬局の がん薬物療法に関する業務ガイドンス」有用性調査
坂本 亜矢子 (株式会社ゆうホールディングス 千本丸太町ゆう薬局)
- P-257 化学療法センターにおける P-CLEAR[®] による抗がん薬除染効果
杉野 善彦 (一宮市立市民病院 薬剤局)
- P-259 2024 年度がん診療連携拠点病院等における外来がん治療部門の薬剤師業務に関する実態調査
盛川 敬介 (国立病院機構西新潟中央病院 治験管理室)
- P-261 アザシチジンの採用規格変更による薬剤費削減効果の検討
関 真咲季 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部)
- P-263F 専門医療機関連携薬局における外来がん化学療法患者へ介入内容と提案の採用状況からみる専門薬剤師の重要性
安留 輝 (泉州メディカ 協和薬局)
- P-265 がん薬物療法体制充実加算の算定に向けた取り組みと有用性および課題の検討
眞弓 健介 (国立病院機構 別府医療センター 薬剤部)
- P-267 関節リウマチ患者におけるがん治療前後の免疫抑制薬の使用状況調査
井上 将貴 (亀田総合病院 薬剤部)

がん診療病院連携研修報告

- P-269 横浜労災病院におけるがん診療病院連携研修の紹介
石井 信幸 (株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 西新宿店)
- P-271 福岡大学筑紫病院におけるがん診療病院連携研修の取り組み
柿本 秀樹 (福岡大学筑紫病院 薬剤部)
- P-273 がん診療病院連携研修報告 学びと課題
神崎 眞依 (トモエ薬局 高田店)

- P-275 **がん診療病院連携研修とその後の薬局業務報告**
宮本 泰光 (クオール株式会社 クオール薬局豊橋東店)
- P-277 **がん診療病院連携研修を通じた薬局薬剤師の役割と薬物治療への介入**
古閑 和崇 (株式会社タカラ薬局 福大筑紫病院前)
- P-279 **がん診療病院連携研修終了後の継続支援体制の取り組み**
柴田 直樹 (がん研究会有明病院 薬剤部)